

3学年だより  
NO 554

# 飛翔

令和2年12月8日



小田原市立城山中学校  
学年主任 水野喜代治

## 1941年12月8日 真珠湾攻撃…日米開戦に

今から、79年前の今日、大日本帝国はアメリカの海軍基地であるハワイを奇襲しました。この攻撃によってアメリカとの戦争に突入しました。いわゆる「太平洋戦争」です。

1931年には、満州事変で中国東北部を支配し、1937年には盧溝橋事件をきっかけに支那事変(日中戦争)と戦線は拡大しました。大日本帝国はこの二つの戦いに対して、正式に「宣戦布告」をしませんでした。そのためにこの戦いは戦争と言わずに事変と呼ばれました。(戦争をすることが国際法で禁止されていました。) このように大日本帝国は合法を建前にアジアへの勢力拡大をはかりました。日本の行動にアメリカが、圧力をかけてきました。そこで、1941年12月8日にアメリカのハワイを奇襲して、アジアでの権益を守るために、日米は戦争状態に突入しました。アメリカに対して日本は、「宣戦布告」をしたので、この戦いは戦争と呼びます。時の内閣総理大臣である東条英機は「大東亜戦争」と命名しました。

大東亜戦争とは、日本が中心となって中国から東南アジアに至るまでの諸国をまとめて共栄共存するための共栄圏を建設するための戦いという意味です。「欧米諸国に植民地にされ苦しむ東アジア地域を日本が武力で開放する。」というスローガンでもありました。しかし、現実には、東南アジアの物資を日本が確保し、日本の支配下に置く戦いであったのです。そのために、大東亜共栄圏の建設という正義の建前は誤解を招くという考えから大東亜戦争という呼び方はやめて、戦後に「太平洋戦争」と呼ぶようになりました。

1941年に始まった日米開戦は、太平洋を舞台に戦争が行われたから「太平洋戦争」と呼ぶわけですが、大東亜共栄圏という名のもとに、日本中の人々が熱狂してこの戦争を正しいものとして推し進めて、約300万人の尊い人の命が失われた事実を忘れてはなりません。

私の母は太平洋戦争とは言わずに「大東亜戦争」と言っていました。「喜代治、大東亜戦争は、大変な戦争だった。近所で戦争に行った人も死んでしまった。あんな辛い戦争は、二度としてはいけない。大東亜戦争はひどかった。」とよく話してくれました。大東亜共栄圏を建設しようとした戦争を実感として母は否定していました。

戦後、大東亜共栄圏という言葉も口にする人もいなくなり、いつしか1941年の戦争は「太平洋戦争」と定着しました。太平洋戦争という名前からは、日本どんな建前をもって戦争を遂行したかは見えてきません。私たちは、大東亜共栄圏をつくるという政策に同調し戦争へ突入したということを忘れてはなりません。



だが、**「新アジア経済共栄繁栄圏」**を建設するために日本がアジアのリーダーとなって、アジアの平和の脅かす国家をはねのけようではないか」などと街頭で演説しだしたら、「大東亜共栄圏」のことを思い出さなければなりません。二度と同じ過ちを繰り返さないために。